飯報たつおか

発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館
広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
上郷町黒田電(22)5353

長野原に 市営住宅団地 新しい部落誕生か

◈……竜丘地区で始めて市営住宅団地が長野原に出来る事になった。……◈
◈……完成は昭和五十六年三月末だが、工事は今月から始められる予定……◈
◈……である。これは竜丘地区の歴史的発展であり注目される。決定ま……◈
◈……でには種々、曲折はあったが地域の発展との大きな見地から調和……◈
◈……のとれた開発が望まれる。……◈

このほど、長野原ホッキのバス停の西上段に、市営住宅の長野原団地が建設される運びとなった。この団地は四ケ年計画で七十九戸の住宅が建てられる予定である。計画の概要は次の通りである。

土地総面積一四九三〇、五㎡、総建物面積四七二五、一㎡、住宅の構造は簡易耐火住宅、二階建て棟続きで、所得制限により第一種住宅（基準収入が八一、〇〇〇円～一一一、〇〇〇円以下、一一一、〇〇〇円以上）と第二種住宅（基準収入が四七、〇〇〇円以上で第一種住宅に入れない場合）があり建物面積も第一種住宅は四・二六㎡×六・八一㎡　第二種住宅は四・二六㎡×六・五一㎡となっている。七十七年度は、第一種八戸×一棟、第二種八戸×二棟の計二十四戸、七十八年度は、第一種八戸×一棟、第二種四戸×一棟、五戸×二棟の計二十二戸、七十九年度は、第一種八戸×一棟、第二種四戸×一棟、五戸×一棟の計十七戸最終八十年度は、第一種八戸×一棟、第二種八戸×一棟の計十六戸合計第一種三十二戸、第二種四十七戸の七十九戸が建てられる。

その他に、集会室（約七〇㎡）一戸、幼児遊園地二ケ所、浄化槽一ケ所が作られ、駐車スペースとして八ケ所予定されている。団地内道路および団地への取付道路は巾員六㎡で、ホッキへおりる道は拡幅される。防火の面で地元の要求が通り、団地内に貯水槽が作られる。七十七年度分は、来年三月末までに完成される見込み。家賃はいまのところ未定。

市営住宅団地が長野原にくることが決った背景には、市が住宅団地の候補地をさがしていたが、七十九戸の住宅をまとめて建てる場所がなかなか無く、この地籍に白羽の矢が当ったということであるが、実際には政治的に決定されたと聞く。

この地籍を含め長野原一帯は、昔から水に苦労した処で、飲料水から水田の水にいたるまで大井川一本にたよっていたが、一貫水路の水が大井川に入ってから、稲作作りにもよくなり水田も増えた。又昔から桑園地帯としても優良農地であり、構造改善事業が行なわれ、区画整理、農道の新設等農業振興の手が加えられた所である。飯田市農協本所も十月中に完成する予定であり、農業の拠点となる所でもある。又、一方で水道も時又水道が延長されたことにより、ここ十数年の内に六〇戸から一四〇戸を越えるほどに住宅が増加している。さらに、昨年飯田市の広域水道本管が農協裏まで来て、水の便が一層良くなって来ている。

このように、ある面で相反する性格をもっているわけであるが、この市の計画が実現した背景には地主の協力が得られたこと、反対のできない状況があったことによる。

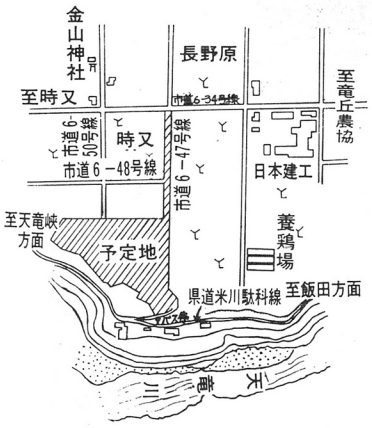
竜丘自治会として、地元の区としては、誘致活動はしなかったが地主の協力が得られて団地が出来ることが決定したことに対しては人口が増えることによる地域の発展という面から結構なことだとの考え方である。

地主の協力が得られた理由は、土地売却価格が良かったこと、近年農家も専業から兼業へ移行することの多い中で、専業農家の協力が得られたことは、代替地が割合簡単に得られ、しかも前より良い土地が手に入ったことによる。今回の土地売却において、土地を売った方も代替地を手に入れた方もすべて良い方向で解決されたとのことである。

団地が出来ることについて、農協関係者は次の様に言っている。「建前論から言えば、あの土地は優良農地であるのに絶対に守っていかなければならない。しかし、時代の流れとして農家自身農業で生きていくとの意欲が少なくなっている状況をふまえて考えると、農業所得の保障ができない以上農家を説得することは難かしいということ。又、同時に地域の発展、商工業の発展ということも考えあわせると「しかたがない」というのが実感とのこと。数年前に県営住宅が来るとの話しがあったときは、価格の面と農協が反対したことで実現しなかったが、今回は政治的決定なので……とのことでした。

このように地域開発と農業との関連には非常に多くの問題が含まれており、今後地区の中で議論されることを願っている。これが決定までのいきさつである。

今後の問題として、団地の住民がどこの行政区へ入るのか（長野原区か時又区か）あるいは独立した行政区となるのか、団地完成までに十分検討されることを願う。又、竜丘として市営住宅が出来ることは始めてのことであり、このことが少しでも地域発展の礎となれば幸いである。



難行する消防 時又詰所移転

警察駐在所の移転は確実

本年十月に消防自動車が更新されるのを機会に、時又詰所を市役所竜丘支所附近へ移転したいとの要望が、消防団、地区民、商栄会などにより急速に高まってきた。

その理由として①支所前にある大容積の地下貯水池を迅速、有効に利用できる。②交通量の多い交差点内にある為、消火に馳けつける団員の駐車場が無く危険な為、駐車が容易な点。③長野原、駄科方面への出動がより有利になる。④便所が無く、増改築が不能で新築するしかない。⑤跡地を商店街の駐車場に当てたい。などが上げられる。このことについて、時又区でも区会、自治会、市会議員、商栄会、地元長老、消防団、消防OB等の代表と話し合いを持ち協議した結果、支所南側のあき地（約十二坪）への移転を強く要望することに一致、日を改めてその旨を申し入れたが、支所側より「二階建ということもあり、日当りや風通しが悪くなり、事務に支障をきたす」との理由から〃認めがたい〃との考え方を示した。現在も支所北側へ新たな予定地を検討中ではあるが、市の所有地が最も望ましいということから難行し、更には、市の予算づけも四年位先になりそうで、未だ行く先無しといった状態である。ただし、新しい自動車の車高が幾分高くなる為、現詰所は既に床面を掘り下げる工事を終えており、更新時に備えている。

そんな中で、消火栓の不備、既設消火栓の低能力も指摘された。現在使用中の四〇㎜水道管では訓練での使用さえもままならず、七十五㎜以上の水道幹線の改善と、それに伴う消火栓の新設を求める住民運動を、国の起債が有る時でもあり、早急に進めたいものである。

駐在所の移転については、駐車場も無く不便な事から現所有地を売却して、農協時又出張所近くの電々公社電話交換所跡地へ約八十五坪の敷地で予定している。土地は市で確保、建物の予算づけは県が来年度に竜丘か伊賀良かを決定する。尚、人口密度の高い処の方が望ましいという理由から、バイパスへの移転は見送られた。

青年の主張

地区青年の役割

〃人間尊重〃と叫ばれる現在、一人ひとりの人間が、人間として大切にされてないからこそ言われるのではないでしょうか。高校生や中学生・小学生が自らの生命を抹殺してしまう狂った社会。

子供が義務教育を受ける年代で、塾などに通わされ、全員百点を取っても五段階に振り分けられ、競争させられ選別される。職場に入れば学歴による差別、企業内での能力競争・資格試験や労働強化により、自から社会の問題や、働く仲間のことなど考えさせられなくなっている。又少なからぬ労働組合でも働く者の真の自由や権利を抑えこみ、組織決定とかで労働者のエネルギーをスポイルしている。ことに若者青年が一番の被害者です。今日の青年層比率は減少しつつあり、結婚年令の若年化により貴重な青春期青年として学び考える時代が短かくなり、青年としてやらなければならない事、自分を人間として高め、地域社会をより良く変革する担い手になれるようになるには多くの青年が職場や社会の問題をストレートに話し合う事、自分の悩みや苦しみ、夢や希望を話し合う事、文化活動やスポーツを行い健康な身体と心を育てたりしなければいけないと思います。

竜丘地区でこの事を満たせる処それは青年会です。でも会員勧誘に行くと必ず言われる事、「家の子は、仕事が忙しいで……」と、今、誰が暇つぶしに青年会に入りますか、人間としてどう生きるか考えたり、社会の諸矛盾に立ち向う事が今ほど求められている時は無いと思います。

日本を背負う若者が、無気力・無関心・無感動であってはならないはずです。青年諸君と家族、いや地域の皆さんに訴えます。若者よ！青年会に入って下さい、と。

狂った日本を皆の力で築き直し正直者がバカを見ず、働く者誰もが幸福になる社会にする為に、今一生懸命学び、考え合い、行動するのか、今はこのままで自分にゆとりが出来たら社会の事を考えてるみ。自分本位の幸福を求めるのか、二つの道があります。竜丘地区内の青年が、市から贈られた青年会館で集い、話し合い、行動し自分自身をより確かな者に高め、磨き上げ社会に役立つ人間になろうではありませんか。（M・K）

市基本構想審議会 どう出る【竜丘地区】

今年で市制四十周年を迎えた。飯田市は美しい自然環境にめぐまれ、先人の築いた長い歴史と伝統をもち、伊那谷の中心都市として躍進している。

これを契機に、広域的視野のもとに長期的展望に立って飯田市の将来像を考える「飯田市基本構想策定」の計画が推進されている。

昭和四十一年十二月、飯田郡市圏総合開発基本計画が完成し、これに基ずいて諸施策が推進されてきた。しかし現在、高度経済成長から低成長時代を迎えて、時代の急速な変化に対応する新しい施策が求められ、又いくつかの見直しも必要とされてきている。

すでに基本構想の策定に当っては、市長の諮問に応ずるために今年の三月「飯田市基本構想審議会（これには、行財政、地域社会、消防防災、教育文化、建設、生活環境、民生福祉、産業の八つの部会が含まれる）」が設けられ、市庁内においては五月より準備が進められている。又飯田市基本構想策定に当っては「市政は住民のため」との基本理念に立ち住民参加の中で作成する必要があり、六、七月に住民意識調査アンケート（対象一千人）をとり、十月中には市内十六地区単位に「地区審議会」を開催してもらい広く市民の声を反映させていくことになった。

竜丘地区においては、去る八月二十三日の区長会で、地区審議会の部会の編成が決められ、十月四日の発足会において正式に決定され、構想立案される事となった。

各部会で構想立案、これを各区会で検討、全体会議を開催し各部会案を検討決定し市の策定委員会に提出する予定。

市の計画としては、来年の三月中に飯田市基本構想を議決・決定する予定で進めるとのこと。

豊かで明るく住み良い飯田市をつくる立場で、将来に禍根を残さないために十分議論をつくし決定されることを望む。

―市基本構想審― 竜丘部会メンバー

（◎委員長○副、敬称略）

【総務部会】
（公民館）○中田美稔　下平宣嗣　伊藤陽治　原祺三　林弘　笹岡秀郎　（交通安全）　市瀬時保　林年雄　（PTA）◎下平隆司　松村嘉久男　（消防）　岡村武男　長谷部進　（青年会）　岡島芳仁　（婦人会）　林浩子　（自治会）　下平兼司　沖田一　原義人

【社会部会】
（老人クラブ）◎中田剛　今村省三　（婦人会）　岡島アキ子　中島志まゑ　（社協）　橋本玄進　（青少協）　今村竜郎　林広夫　（勤労協）　下平隆司　（衛生組合）　牧島豊　大見常次郎　河原きく江　（青年会）　小室正巳　（民生委員）　林順三　今村喜久男　下平英俊○木下一　伊原節子　（自治会）　長沼保治　中平保治　前沢五雄

【建設部会】
（自治会）◎沖田一郎　下平兼司　下井田勲雄○林市郎　長沼保治　今村秋男　下平俊一　吉川正己　岡村償

【産業部会】
（財産区）　塚平睦雄　関島直彦　（商工会）○北沢小太郎　橋本只四郎　（農業委員）　高島博　金子虎一　牧島豊　（農協代表）　◎下平才助　原康次　井口正三　原頼人　（自治会）　下井田勲雄　林市郎　折金米男　（各部に所属）（市議）　伊原悦雄　原康次　（自治会）　河原正吾　塚平睦雄

随想リレー【104】

我が子を送り出して！

長野原　垪和誠司

終戦三十年過ぎて、とにかくあわただしかった感じだけが印象として残っている。産業の開発と経済戦争の中をせかせかと横をみる暇もなくかけて来て、一息ついた時、人生の大半を費している自分に感慨が湧く。精一ぱい生きて来て、ここらで一休みと日々思い乍ら、あくせくと己が仕事に追われている現在ではあるが、日本人特有の勤勉さと言うか、実直さと言おうか家族にも時折言われている現在ではあるが、やはり地球の一角の片隅を苦慮し、汗をかいて自分の手で一つづつ築き上げた仕事の喜びは、男ならではの感慨を抱く。しかし、風才の私ではあるが、ささやかな夢がある。四月、息子の進学のため、中央道、東名高速を経て東京へ送った。此の夜の感想が浮かぶ。何となくまだ母親にじゃれつく感じのある、海のものとも川のものとも想像もつかない息子に夜をかけて「開けていくお前の世界に、これから受ける教育と体験で、限りなく大きく成長してほしい」と願った。

夜のハイウエイに一すじに光るサイドラインとジェネレーターを見つめながら。だがしかし、吾子が何を感じ、いかに受けとったかは未聞であるが、親とはこんなものだと思う。これからの社会の充実は、やはり現代の若者が率先しなければならないが、あわただしい経済成長のもとでの教育のひずみか？衝動的な理性のない行動が何となく多くなったのではと思う。

戦後三十年の歴史の歩みを、人々思いを、後代の若者に伝えて行くべき私共の責任を感じるのです。

先日ある講演会の場で聞いた一説が浮んできます。「死者が語る如く語れ、死者が聞きとれる如く聞け。」非常に味あいのある言葉だと私は思う。三十年の月日の流れに眼を覆りのではなく、お互に苦しかった、楽しかった日々の上に立って、そのあゆみを、歴史を伝えてよき社会をつくり上げなければならないと思うのです。

現代の恵まれた家庭と社会環境の中ではぐくまれた若者達が、将来の大きな希望のなかに、科学と資源開発時代を迎えている今日、共栄の精神と人間性向上の理念の上に立って、限りなく成長してほしいと、私は自分の二人の息子を通して願っているのです。

ヤブ蚊

◉昨年の今頃だろうか、駄科の念通寺山の石仏が盗まれ、マスコミにも取り上げられた。盗まれた石仏は戻ったものの、それを機に石仏は、念通寺の参道一ケ所に移された。盗まれなければ、百三十体の石仏は地区内を見下し、つづら折の由緒ある山中に先人の願いや夢を語りつづけていただろう。又鈴岡公園から開善寺までの歴史を訪ねる、ハイキングコースになったのに残念です。◉盗まれた石仏は、目立ない山林の中にあった事が狙われた要因かも知れない。地区内には、見廻してみれば、あまり知られていない石仏、石造物、それに植物、動物の生態等にも貴重なものが多く、地区外の専門家も目を光らせている。鈴岡公園のギフチョウもその一例であろう。◉文化財、動植物群は一度失ったら取り返しのつかない、かけがいのない物である。地区民が認識を深め目を光らせていなければなるまい。◉市考古資料館、民俗資料館のある我地区には、古墳、寺社城跡、石造物等、歴史の中に織り成したものは実に豊富である。それに加え、初午まつり、灯籠流し等の民俗行事もあり、私たちの手で後世に伝えたいものである。◉臼井秘境やつつじを育てた老人クラブの活動に頭が下がる。生れ育った故郷の宝物を見直してほしい文化の日を前にして、文化の意味や重みを考えたい。◉竜丘地区で最大の古墳群を有する桐林塚原、最近バイパス沿いの桑畑が売買されたとか、民家の無い桑園の中に小高く盛り上がる古墳を数えながら進んだ史跡めぐりが想い出される「ここには人家は作りたく無いものだ」と参加者一同で確認し合った時のことが。竜丘だけの財産でなく伊那谷の大きな宝だと思う◉文化財の保護のための予算がつかない現状では、国や自治体に住民運動で問題を提起するしかないと思うのだが……。

考えたい将来への遺産
財産区 新議員決る

去る七月二十八日竜丘地区の財産区議会選挙が行なわれた。この選挙は公職選挙法に準じて行なわれるものであり財産区議員の職務の重要性がうかがわれるが一般には馴じみが薄く、今回も定数十名に対し立候補者十名で無投票で選挙が終った。

今回選ばれたのは次の十氏で、八月十八日第一回議会が開かれ、財産区議会の議長には「塚平睦雄氏」が選出され向こう四年間の任期がスタートした。

【駄科】 関島直彦 中平保治 吉川忠規 【長野原】 今村長穂 【時又】 土屋男三 今村定男 橋爪和夫 【桐林】 森山昇 中島章 【上川路】 塚平睦雄

〔解説〕

一般には馴じみの薄いこの議会の発端は今から二十余年前、飯田市へ合併した頃にさかのぼるが、当時村（各区）には相当量の山林等いわゆる財産があったが、飯田市へ合併する際、市へ提供するのではなく、各村単位、各部落単位で管理する事になった。

したがって最終的管理者は市長であるが、権利者は各関係地区であり、竜丘村当時より今日まで管理、保全がなされ、財産が共有されている。

この財産を管理するのが財産区であるが、その役割りは、植林、下刈り、補植、地ごしらえ等にあって、人夫的な作業に置かれている。

財産区の年間予算は約七十万円前後であるが、山林の手入れと議員の手当てに充当している。未だに少ない予算だけに充分な管理運営にまで届かないのが現状とは財産区議員の声。

竜丘の財産を分析すれば、山林一四五㎡、保安林四〇〇㎡、原野二四㎡、田〇、六五㎡、合計五七〇㎡である。

地籍は駄科、大瀬木、清内路に位置している。他に「大十区」「大七区」等の他村他区との共有林もあるが、それらの内容は財産区からの報告を待ちたい。

最近行った財産区の財産処分は五十年に小学校改築、竜丘公民館建設へ三百五十万円使われ、地区の公共施設へ役立てている。

今後は官行造林（ヒノキ）の五十七年伐採期（昭和十二年頃に植えたもの）をむかえる。面積約十町歩を切り、売上金額を折半する事で営林署との間でトップ交渉済みである。以後六十二年には、二十九町歩の官行造林がだれる予定である。

財産区が管理する財産のほとんどが山林であり、切って見なければ訳らない要素と言わゆる「ヒノキ」と「雑木」とではその価値観が大きく違う点を重視し、子供、孫へと引き継ぐ大切な財産であり雑木の林をヒノキの林に変えられるだけの政治が要求される。共に変わりつつある竜丘も祖先の残した私達の財産がこれから、どの様にして受けつがれて行ったら良いのか、財産区の全容がもっと地域の中へオープンする事が望まれます。

特に五十七年には相当量の資金が入ってくる事が予想されるが、大盤振舞のばら蒔きではなく五十年、百年後を考えた運営が望まれます。

講堂に照明増設

今スポーツ人口は増え、地域でスポーツを出来る場所は学校の校庭や体育館しかない、だから利用が多くなって来た。

校庭では早起き野球が十三チームあり、練習や試合が行なわれている。スポーツばかりでなく消防の訓練のため多く使用されている体育館はバレー部、卓球教室がそれぞれ、週一回ほど夜使用している。しかし、照明は水銀灯一個と螢光灯三個がついているだけで非常に暗くプレーに支障をきたしていた。

四月に行なわれた各クラブの委員総会で、体育館の照明について増設の要望が出され、公民館を中心に話しが進められて来たが、予算も決ってしまった段階で予算もとれなく、自治会にお願いして、二十一万円。市の社会教育課より社会教育施設の修繕費として五万円、計二十六万円で体育館天井に四百ワット四個の水銀灯が盆前に増設された。ずっと明るくなり良い環境になり皆よろこんでいる。

今年度自治会体育関係の予算は四十万円で、今回二十一万円使用し残り十九万円で、グランドの野球用バックネット網が破れて来ているため、今年度中にネットの張り替えが行なわれる予定になっている。又体育館の照明と同時にグランドの夜間照明設備の要求も以前から各種団体又地域の人達から強く出されていた。

学校は解放されていてもグランドは夕方ほとんど利用出来ない状態。それぞれの関係の人達が骨を折り進めていてくれ、近い将来にグランドの夜間照明設備がされるのではないかと期待されている。

学校のグランド、体育館の使用にあたっては早めに公民館主事まで申込み、文化スポーツ等多種にわたり利用され活動が発展される様、公民館では望んでいる。

早起き野球リーグ戦
優勝『ダックス』

年々高まる野球熱……。今年も十三チームが熱戦を展開した竜丘早起き野球リーグは、四月の春季トーナメント戦を皮切りに、夏季リーグ戦、九月の城下グランドでの秋季トーナメント戦で、その幕を閉じた。春季、秋季トーナメント戦は「T・タイガー」「城陸」がそれぞれ優勝、リーグ戦は「ダックス」が栄誉に輝いた。

早起き野球リーグ戦結果

○勝 ×敗 △引分け □不戦勝 ■不戦敗

	ダックス	城陸	長野原	時又港	ギューチュー	愛球会	安城	ナインズ	リバーズ	シャトー鈴岡	ビーナス	建設会	T・タイガー
ダックス	＼	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
城陸	×	＼	○	○	○	×	○	○	○	□	○	○	○
長野原	△	×	＼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
時又港	×	×	×	＼	×	○	○	×	○	□	○	○	○
ギューチュー	×	×	×	○	＼	○	×	×	○	○	○	○	○
愛球会	×	○	×	×	×	＼	×	○	△	△	○	○	○
安城	×	×	×	×	○	○	＼	×	×	○	○	○	○
ナインズ	×	×	×	○	×	×	○	＼	×	○	△	■	○
リバーズ	×	×	×	×	×	△	○	○	＼	○	○	○	×
シャトー鈴岡	×	■	×	■	×	△	×	×	×	＼	○	○	○
ビーナス	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	＼	○	○
建設会	×	×	×	×	×	×	×	□	×	×	×	＼	○
T・タイガー	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	＼

グループ紹介
竜丘ビーナス（野球）

竜丘地区早起き野球参加チーム〝竜丘ビーナス〟数あるチームの中にあって、その活動がユニークであり、今回のグループ紹介となった。

チーム結成は、四年前の九月、構成員は昭和十七年生れを中心とする同年生で、竜丘中学校最後の卒業生である。竜江、千代、下久堅在住者を含め十八名、他地区の者は、竜丘地区の早起き野球の参加権は無いが、他の試合等には何時でも集まると言う。

彼等が野球を始めた理由は、我々も三十代になった。これからの健康管理のため、同年生でスポーツをやろうと言う事になった。だから、この年になって本格的に野球を始めた人も幾人かおり、チームの実力は今一歩と言うところ。そしてチームの名前も、早起きにふさわしく〝明けの明星〟すなわちビーナスとした。

野球の勝負は、同年生のチームワークだけではどうにもならず、毎年2～4勝で低迷しているが、勝っても負けても陽気でいられるのがこのチームの良い処か。それでも今年はサインプレー等研究し勝つための努力も始まっている。そして来年は練習にも積極的に取り組みたいと云う。

ビーナスのもうひとつの側面として見逃せないのが、ユニークな企画と行動にある。そのひとつは昨年九月名古屋球場を借り切って〝草野球〟をした事、上手、下手を問わないビーナスだからこそ出来た企画だと、参加したビーナスのメンバーが喜こんでいた。

今ひとつは、五月に行なわれたビーナスの家族交流会、これは日頃迷惑をかけている奥方、子供に対する家族サービスであった。雨天ではあったが四十五名が参加し尾張温泉東海センターで楽しい一日をすごした。そして、この日のために貯金をし、チームの旗まで作ったと云う。又、来年は竜丘中学校卒業二十周年を迎える、そのための準備もすすめられている。

〔ナゴヤ球場でプレイボール〕

今迄の早起き野球は、野球好きで上手な者と決っていた。このチームの出現で、野球人口、すなわちスポーツ人口が増えた。そして男だけのつながりを子供奥方にまで広げ今後益々発展するであろう早起き野球のあり方にひとつの方向を示しているようだ。

旧図書館 青年会へ

「館報たつおか」で、再三にわたり取り上げてきた旧図書館が、正式に、竜丘青年会に貸与される事になった。

一昨年以来青年会が勧めて来た運動（屋根瓦運び、地区内の署名集め、教育委員会の陳情等）が認められ、今年の新春放談会の折に市長の英断で実現する事になった。

七月一日、飯田市と竜丘自治会との間に旧図書館の無償貸付契約が取り交わされた。

これによると貸付期間は昭和五十五年三月三十一日まで（更新は可）貸付用途としては、竜丘青年会の健全な育成・発展を計る為の集会施設に用いる事とされている。

以上が契約書の主な内容である雨もりのする屋根も改修され、また、十月二日には十数年来使用できなかった便所が、青年会の労力と、材料費の自治会負担で完成した。

有線の基本料金は自治会が負担し、青年会が管理する事になった。

この様な経過で、旧図書館は竜丘青年会の活動の拠点として整備された。

飯田市内の各地の青年会と比較すれば、一番恵まれている竜丘の青年達には、各方面から大きな期待がかけられている。

青年の豊かな未来と、明るく住みよい竜丘地区の建設に大きく貢献し、今まで以上に質の面でも量の面でも、飯田市の青年達の先頭に立って活発な活動が期待されます。

盆野球は 長野原

去る八月十五日に八チームが参加して、盆常会対抗野球大会が行なわれた。長野原2と上北（桐林）の間で決勝戦が行なわれ、引分けジャンケンの結果、長野原が優勝した。

- 下平南（駄）1 ― 長野原2（長）3
- 中央（桐）0 ― 時又1（時）1
- 上北（桐）0 ― 時又12（時）0
- 宮前（上）8 ― 南平（駄）1
- 長野原2 6 ― 時又1 1
- 上北 4 ― 宮前 1
- 決勝 長野原2 4 ― 上北 4　ジャンケン 長野原

あの人 この人

◉伸びよ健やかに　（六月～九月二十六日）

（氏名）	（部落）	（父名）
外山　誠	桐林	正嗣
伊原　淳	時又	芳久
木下　幸子	時又	理司
塚平亜久里	上川路	広志
今村　茂登	時又	二三好
〃　章子	〃	〃
伊東　美和	駄科	憲一
松下　友紀	桐林	優
伊東めぐみ	駄科	正直
原　幸司	駄科	幸夫
高橋　光志	桐林	功光
貝梅　由恵	駄科	実
今村奈津子	長野原	正道
筒井　順子	上川路	秋雄
田畑　卓美	長野原	公靖
松沢　貴志	時又	敏彦
大見　朋哲	時又	新一
水野　百子	時又	甲子夫
長谷部辰三	上川路	豊志
大沢　芳弘	時又	兼光
福島　里美	時又	捷吉

◎永遠に幸あれ

（金田　良男 ／ 林　喜代子）　長野原 ／ 追手町より

（本田　正司 ／ 下平　綾子）　東京 ／ 駄科より

（小椋　修二 ／ 宮下　政子）　東京より ／ 長野原

（沢口　安夫 ／ 林　文子）　座光寺 ／ 時又より

前号で氏名に誤りがありました謹んでお詫び申し上げます。

誤　（深見　鉄夫 ／ 古林　延子）　高森町より ／ 時又

正　（深見　鉄夫 ／ 古林　章子）　高森町より ／ 時又

■御冥福を祈る

（氏名）	（部落）	（性）	（年令）
東海林運蔵	長野原	男	六〇
伊藤　す美	駄科	女	七九
桐生　千里	桐林	女	七四
城田　武蔵	駄科	男	七四
久保田とし江	駄科	女	七五
牧内　よし	上川路	女	九一
下平とみの	駄科	女	八六
伊藤　ツち	駄科	女	八五
下平　三里	時又	女	八四
沖田　一雄	時又	男	六二

鉛筆かついで
三つ子のお母さん

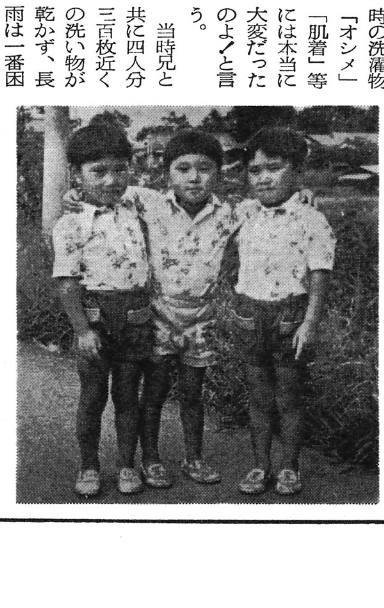
桐林　中島すみ子さん

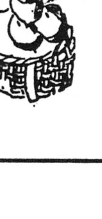
こんにちは！……玄関に入るとトントントントンと、一人の男の子が元気よく顔を出す。トントントントンと又一人。お兄ちゃんの康弘君と共に男の子四人にぎやかだ。三つ子の兄弟、秀俊君、茂徳君、隆明君は健康そのもの、陽焼したその顔は愛想良く、お茶目であれ！と思うほどよく似ている。三人が入り乱れて躍り廻る姿は誰が誰やら始めての私には区別がつかない。お母さんと話しをする間も三人が広い廊下、応接間と、どんどんかけ廻る。今になると、「ヤンカ」がひどくって怒ってばかりいるんですよ！と笑って話す。それにしても健康で育って、手がかからなく成りましたと語ってくれる……。出産の時、先生から三ツ子の元気な「男のお子さん」ですよと言われビックリ、退院後、きまりが悪いやら報道機関の面接に拍子が悪いやら……。気持の整理がつかないまま無我夢中で今日迄。そんなあの時から早いもの。三兄弟はすくすくと成長し、満五才を数えた。雨が降り続いた時の洗濯物「オシメ」「肌着」等には本当に大変だったのよ！と言う。

当時兄と共に四人分三百枚近くの洗い物が乾かず、長雨は一番困ったと、苦労した体験話しの中から四人を一緒に育てる事の苦労の多い事を痛感する。仕事場から目の届く部屋に、出られないように紐で囲み遊ばせておいても、四人の兄弟は己々の力を合せて、知恵を集めて出て来てしまう。仕事が出来ずに親と子供達との知恵比べが何回もあったと言う。

只、無我夢中で今日迄一生懸命頑張ってきたと言う。母親の顔には、当時の苦労は全く見られず、明るい人柄から一時の幸福感が伝わり、お茶を頂きながらほのかな気分にさそわれる。ご主人はもとより、四年前に去ったお爺さんにはその間面倒をみてもらい、本当に助かったと聞く。何かにつけて子供達の遊び相手で又良く面倒を見てくれるお婆さんの協力も母親を大きく支えた。素裸な二人の兄弟が風呂上りに駆けて来た。「誰と入ったの？」お婆チャンだよ！

お話しをお聞きする間にも、そこここから漂う、なごやかな中島さんのお宅からエンピツをかついだ。





あなたも愛の献血に協力しましょう

とき　十月二十七日（木）九時三〇分～十六時三〇分

ところ　竜丘公民館

編集後記

とにかく何かと急がしい時節、館報編集も少々遅れましたが、ほぼ予定通り？一四九号の発行が出来ました。

今年は米が大豊作、農家にとっては喜こんでいいのやら、複雑な気持とか……。

秋。一口に食欲の秋とか読書の秋とか言われるが、あなたにとって秋とは……。

飯田市基本構想策定のための竜丘地区審議会が発足した。飯田市の中で竜丘の発展を考え、その位置づけが検討されることとなった地区を考える秋となれば良いが…

（次号は十二月発行の予定）